委 員 会 会 議 録

（社）滋賀県トラック協会

会 議 名	平成２２年度（第４回）環境対策委員会
開催日時	平成２２年１０月２８日（水）　１４：３０～１５：４０
開催場所	滋賀県トラック総合会館　３Ｆ「研修室１」
出 席 者	委員１３名、事務局２名

協　　議　　内　　容

開会にあたり阿野委員長から挨拶が行われた。
早速、委員長が議長となり議題協議に入った。

議　　題

（１）事業実施報告について
資料に基づき事務局から説明が行われた。
①各種助成制度の実施状況について
車両導入助成については、受付ベースでの状況数字であるが、順調に事業進捗を見せている。
ＥＭＳドライブレコーダーの助成については、現状で助成枠がいっぱいとなった。導入前の事前問い合わせが現在においても多く、まだまだ、導入需要は多いことが考えられる。このことから、環境対策としての予算枠の中で追加予算枠を設定して頂ければ、多数の会員事業者の要請に応えることができる旨が事務局より説明された。
本件協議の結果、事務局提案どおり、環境対策の総枠の中で可能であれば、ＥＭＳドライブレコーダー助成枠の拡大を行うよう、執行部及び理事会へ提案することとなった。
ディーゼル微粒子除去装置は、助成枠がいっぱいとなった。しかし、予算枠としてはＮＯｘＰＭ低減装置と同じ予算枠としており、ＮＯｘＰＭ低減装置はほとんど出ない機器であることから、それぞれに設定している助成台数枠を取り払い、合計枠として両機を助成したい旨が説明された。
本件協議の結果、事務局提案どおり、ディーゼル微粒子除去装置・ＮＯｘＰＭ低減装置に対する助成はそれぞれの助成台数枠を取り払い、トータルとしてその助成を実施していくこととなった。
エコタイヤに対する助成は、まだまだ低調な受付状況である。

②秋の交通安全運動期間にかかるアイドリングストップ啓発活動取組状況

各支部より取り組み状況が報告された。

甲賀支部　国道通行車両を止めて、啓発場所へ誘導する（入れる）ので、運転手から、「何か？」という雰囲気で見られる。この方法が適切かどうか問題である。

湖東支部　啓発イベントについては、たくさんの参加者にて盛大に執り行われた。

湖北支部　甲賀支部と同様、車両を止めて誘導する方法であるので、運転手の反応が良くない部分もある。啓発場所のはるか前方に、目立つ幟旗を立てて、この向うで啓発活動をしているというＰＲが必要ではないか。

湖南支部　啓発物品たるティッシュＢＯＸの形状改善を求む。

彦根支部　以前のように高速道路ＳＡ駐車場内での活動は現在、禁止されているので、本当に啓発が必要なトラック乗務員への啓発活動ができない。
啓発物品を配布する人員のそばに、必ず啓発幟旗を持った人員がつくことが必要。

湖西支部　啓発活動として車両パレードを約１時間実施した。

大津支部　近江大橋西詰め交差点での啓発活動を実施したが、大津警察より、この場所は危険であるとの指摘を受けた。

各支部の活動報告及び意見を受けて、指摘の点について協議の結果、警察が車両誘導し啓発を行う場所においては、その啓発場所の前方で啓発活動の事前ＰＲを、目立つような形で実施し、また、現在の幟旗がトラック協会とわかるように（目立つように）改良することとした。

さらに、以前より懸案事項であった啓発物品であるティッシュＢＯＸは、ティッシュＢＯＸとしての通常形状に戻し、派手で目立つような啓発内容が判るデザインとする方向で検討案を出すよう事務局へ要請された。

（２）当面の事業計画について

①エコドライブ研修会

彦根支部・湖北支部合同にて１１月６日（土）に実施する。現在参加者を受け付けしている。来週早々には参加者確定する予定であり、また、平成２２年度の最終回となるエコドライブ研修会を１月に全支部対象として実施することが事務局より報告された。

②トラックの日事業にかかる植樹事業

事務局より、植樹場所の案内と、当日の服装（協会ジャンバー・帽子、長靴（汚れても良い靴））説明が行われた。

また、雨天が想定される場合は、チャーターしている大型バスのキャンセル料金発生を防ぐ為、前日の時点で実施の是非を決定したいとの提案が行われた。

この提案を受けて、協議の結果、本件了承された。また、各メディアへのＰＲを実施するよう事務局へ要請された。

③アイドリングストップ内部啓発グッズ

アイドリングストップ内部啓発グッズ案が、事務局より提示された。

本件協議の結果、個人配布の物品ではなく、事業所へ配布する物品とすることとし、その物品は、過年度に配布した「アイドリングストップ啓発看板」とすることが決定した。

デザイン案は過年度配布看板を基本とし、その色等を変化させ、委員会提示できるよう事務局へ要請された。

⑤環境キャンペーン（近ト協）

事務局より各支部における環境キャンペーン実施場所及び啓発グッズ配布数が報告された。

このエコバックを見た出席者より、今後同じようなバックを配布するならば、店舗で使用する買い物カゴに合うものが良いとの意見が出された。

尚、本活動に係る参加者への対応は、アイドリングストップ啓発活動と同様とすることが決定された。

④アイドリングストップ支援機器（蓄熱式ウォームマット等）の指定機器追加について

事務局より、指定機器の追加（ぬくぬくブランケットＥＸ）したい旨説明され、協議の結果、追加すること了承された。

（３）その他

①事務局より、閣議決定された「円高・デフレ対応のための緊急経済対策」の補正予算案に伴い、ＣＮＧ・ＨＶトラック及びポスト新長期規制適合車導入に対する補助金の説明が行われた。また、今国会での補正予算案成立が前提となることが注意点として説明された。

②湖東支部より、前回委員会にて提議された、春秋の交通安全週間における各種啓発イベントに係る、トラック提供（交通安全協議会等からの要請に伴う）に伴う費用対応について、委員会として対応できないかとの要請が行われた。

本件協議の結果、その費用算定の根拠、つまり金額設定を行う必要があり、この場合、他委員会や他行事で拠出している車両費用とのすり合わせが必要となることから、まずは、事務局へその費用を調べることが求められた。

今後発生したケースについては、算定基礎を設けて、拠出する方向で検討されることとなったが、今回の費用対応については委員会として対応を行わないことが決定された。

以上で議事が終了し、次回委員会開催日を決め、辻副委員長の挨拶が行われ、閉会。

■次回委員会

日　時　　平成２２年１２月１１日（土）　１７：００～

場　所　　ニューびわこホテル